



### 新年のごあいさつ

米原老人クラブ連合会

会長 山本賢夫

明けましておめでとうございます。会員の皆様には平成二十五年の新春をお健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

平素は、それぞれの地域で仲間づくりに向けた取り組みや老人クラブに欠かせない健康づくり、介護予防活動、さらには地域の諸団体との連携した活動等、多くの事業に取り組んで頂き感謝申し上げます。

平成二十四年度当初計画しました諸事業も会員各位のご協力により予定通り順調に進められてきましたことにも厚くお礼申し上げます。

ところで最近著しく高齢化が進む中、高齢のため個人会員が退会されるかたわら単位老人クラブそのものが役員の手がでないとの理由で休会や退会する組織が増加し憂慮すべき事態になってきております。

この現状を何とか打開するため、会員の方々自らの経験や知識を生かし、先進事例に学び、組織の活性化、会員の拡大に向けて「困ったときに



### 第37号

米原老人クラブ連合会  
会長 山本賢夫  
米原市地域福祉センター  
ゆめホール内  
米原市三吉570  
電話：54-3110

### 米原老ク連高齢者大会 開催

平成二十四年度の米原老ク連高齢者大会は、八月二十七日地域福祉センター「ゆめホール」において多数の会員の皆様にご参加頂き賑やかに開催することができました。

午前は式典後、びわこ学院大学准教授 烏野猛氏の『豊かで快適な老いの迎え方』と題するご講演をお聞きして、巧みな話術と身近なテレビの「サザエさん一家」をたどに挙げた判り易いたとえ、身につまされる内容にみな引き込まれて聞き入っていました。

昼食でまた雰囲気の変わったひとときを過ごし会員間の親睦をはかつて頂いたのち、米原琴・尺八同好会による「琴・尺八演奏」、近江八幡の琵琶湖よし笛アンサンブルによる「よし笛演奏」に心とませて頂き、幕間には、会員有志の元気なカラオケに勇気づけられながら、楽しく有意義な一日を過ごすことができました。



## 友愛部事業だより

友愛部長 北村美代

明けましておめでとうございませす。

友愛部長の大役をお受けして一年近くの月日が過ぎました。

友愛部一年間の事業も、役員の皆様並びに会員皆様のご協力により、ほぼ達成できました。ありがとうございました。

以下、今年度の事業報告をさせていただきます。

### 『七夕の集い』 七月七日



綺麗な七夕飾りが出来上がりました！

参加者二十六名、セブブロック減少により、去年より少なくなりました。

参加者皆さんで七夕飾りを作りお昼を共にして、午後、NPO法人「ひまわり」の方による「桃太郎」「オレオレ詐欺」の寸劇を楽しんで頂きました。



楽しく七夕飾りを作りました

### 『介護施設訪問』 九月五日

旧米原地区六ヶ所の「きらめき」、「ゆめホール」、「ワークスさかた」、「ひだまり」、「千寿庵」、「ファミリーケア」へ粉石けんのカースを贈らせていただきました。

### 『友愛訪問』 九月十七日

敬老の日に合わせて、百二十一人の八十八歳以上の方に「祝まんじゅう」を贈りました。

各女性代表の皆さんには、お世話になりありがとうございます。

一月中旬には、自宅介護者のお宅にお見舞いをさせて頂く予定です。

行事の都度、役員様はじめ女性代表の皆様には、いろいろとお世話になります。今後共よろしくお願ひいたします。



## 保健体育部だより

保健部長 竹中榊夫

明けましておめでとうございませす。皆様にはお元気で新しい年をお迎えのこととお喜び申し上げます。平素は保健部の諸行事にご協力いただき、心よりお礼申し上げます。

### 【A】年初よりの経過報告

平成二十四年春の役員改選で、保健部長を引き受け、あと少しで一年を迎えようとしています。

保健部活動として従来の取り組みから、改善すべき事や新たに取入れれば：と思われる事について役員各位のご意見を頂き、その結果

(一)改善すべき行事として

- ① 秋開催の「体育大会」廃止
- ② 夏開催の「スポーツ大会」での競技種目でゲートボールの不採用
- ③ 「健康講座」の廃止

(二)廃止の理由について

- ① 単位老人クラブの役員が出席せざるをえない行事が多い。

例、「体育大会」「健康講座」

- ② ゲートボールは人気は薄れていて、チーム数も極めて少なく、試合組ができない。
- ③ 地区別「健康講座」は、各単位老人クラブで実施しており重複している。
- ④ 会員の高齢化が進み、役員を敬遠し退会される状況の単位老人クが増加傾向にある。

以上の三行事の廃止と、その理由について全体役員会に諮り、全役員の賛同を得て平成二十四年度年間予定を作成した次第です。

会員皆様の心の負担を軽くし、各単位老人クラブの退会に歯止めを掛け、新人会員の増に結びつくような取り組みを議論し、早い時期に役員会で提案できるように努めることと致しました。

また、米原老ク連のスポーツ大会では「ゲートボール競技」を不採用としましたが、少数ですが練習されている単老クや団体もあり、米原市大会では「市老ク連(二十四、五年度は伊吹担当)」との事務局交渉で、米原老ク連からは四チームの出場が可能となりました。

【B】活動報告

『米原老ク連スポーツ大会』

- ・ 期 日 七月九日(月)
  - ・ 会 場 県立長浜ドーム
  - ・ 種 目 ① グランドゴルフ  
② 輪投げ  
③ ペタンク
- 右三種目同時開催

会員相互の親睦と健康づくりを目的に二百七十六名の会員が集い奮闘されました。

成績は次のとおりです。

一、グランドゴルフ(個人戦)

- ・ 優 勝 清水武芳(上丹生)
- ・ 準優勝 西山敦子(梅ヶ原)
- ・ 第三位 藤居みさ子(筑摩)

※上位二十四名までの選手は九月二十五日の米原市老ク連の決勝大会に出場されました。



熱戦中のグランドゴルフ

二、輪投げ

- 男子の部
  - ・ 優 勝 東番場チーム
  - ・ 準優勝 下丹生チーム
- 女子の部

※男女別上位二位までの選手が、九月二十五日の米原市老ク連の決勝大会に出場されました。

三、ペタンク



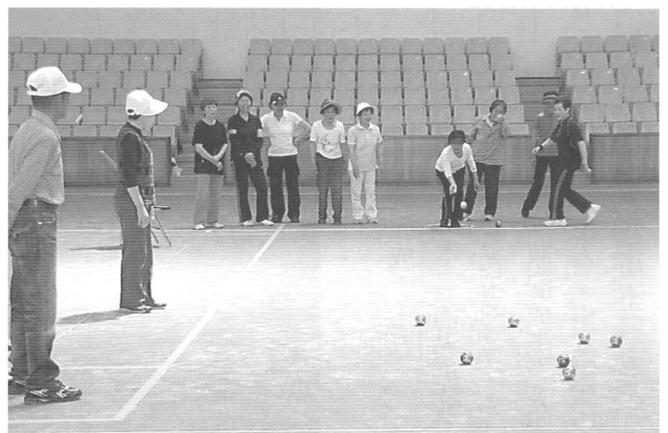
慎重にねらいを定めて 男子輪投げ

三、ペタンク

- 男子の部
    - ・ 優 勝 梅ヶ原Aチーム
    - ・ 準優勝 東番場チーム
  - 女子の部
    - ・ 優 勝 東番場チーム
    - ・ 準優勝 梅ヶ原Bチーム
- ※男女別上位二位までの選手が九月二十五日の米原市老ク連の決勝大会に出場されました。



思い切りのいい男子ペタンク



繊細に慎重に女子ペタンク

『第二十三回米原市老ク連  
スポーツ大会』(決勝)

- ・ 期 日 九月二十五日(火)
- ・ 会 場 県立長浜ドーム
- ・ 種 目 ① グランドゴルフ
- ② 輪投げ
- ③ ペタンク
- ④ ゲートボール

右四種目同時開催

旧町単位の四地区の老ク連から  
予選を勝ち抜いた総数二百七十二  
名の選手が出場、各種目で技を競い  
ました。



闘志をそそる優勝トロフィー

米原より選出のグランドゴルフ  
選手二十四名は、四チームに分けた  
チーム編成としました。



電光板には誇らしく大会名が

成績は、次のとおりです。

(米原老ク連関係のみ)

① グランドゴルフ(団体戦)

・ 準優勝 筑摩・上多良混成

(真野繁蔵、竹中典江、西川 敏

藤居みさ子、古澤久剛 五名)

(個人戦)

※参加者は九十六名

・ 一 位 田口ひろ子(梅ヶ原)

・ 九 位 真野繁蔵(筑摩)

・ 十 位 竹中典江(筑摩)



熱戦中のグランドゴルフ

② 輪投げ

女子の部

・ 三 位 南三舌チーム

(笥清子、山川佳世子、西沢弘子)



周りも熱中する輪投げ

③ ペタンク

男子の部

・ 三 位 東番場チーム

(古野義次、津田憲司、小路英男)

女子の部

・ 準優勝 梅ヶ原チーム

(伊藤千恵子、草川千代子、久米

とみこ)



熱戦が展開されたペタンク

④ ゲートボール

・ 優 勝 磯混成チーム

(堀川敏男、山本二三夫、佐敷宏

百々定美、和気巻恵)

・ 準優勝 梅ヶ原混成チーム

(草川 隆、山本 申、藤居いと、

浜川美津子、草川不二子)



ゲートボールも健在!!

以上のとおり好成績で米原老ク連代表は米原市大会を終えました。老ク連大会予選、市老ク連決勝大会に参加の会員の皆様、関係者の皆様には大変ご苦勞をおかけしました。有難うございました。



## 教養研修部だより

教研部長 山田幸祐

あけましておめでとうございます。

会員の皆様にはどのような新年をお迎えになられたことでしょうか。本年が会員の皆様にとりましても米原老ク連にとりましても、より幸せ多く実り豊かな年となりますよう精進してまいりたいと思います。

平成二十四年度は、米原老ク連加盟の単位老人クラブが退会等による減少のためお年寄り仲間を多数失うショックな船出となりましたが、逆にこれを契機に保体部や友愛部と連携をとり、事業の精査や取り組みの改善等を行い、不評で負担ともなっていた事業は思い切って廃止するなど軽量化をはかる取り組みを進めてまいりました。おかげで若干ですが参加ノルマの軽減をはかることができ、事業も余裕を持つて企画・準備・運営等に取り組めることにもつながる好ましい結果を得ることができ

きました。

会員の皆様のご理解あるご協力や役員各位のご尽力に深く感謝いたしますとともに本年もよろしくお願いいたします。

### 今年の「日帰り研修」は いかがでしたか

老ク連の会員である楽しみのひとつに、「日帰り研修」があります。これは見聞を広げ体験を豊かにしていただきながら旧知の方から初対面の方まで親交・親睦を深めていただく機会ともなることを願っています。



ゆめホールに集結したバス3台

本年も会員の皆様のご期待に添えるよう教養研修部会で協議・検討いたしました。今年には近隣にイベントが少ない年のため、研修を『イベントや研修地訪問』タイプから『近場でゆっくり』タイプに切り替えて実施いたしました。



多度大社の大鳥居

米原老ク連の「日帰り研修」では、「イベント参加」タイプが多かったのですが、今年の「近場でゆっくり」タイプにもご不満もなく多数ご参加いただき、企画・運営に当たりました教養研修部としましては非常に嬉しく、新年度の企画にも一層力が入るところです。



多度大社前でバスごとに記念写真

研修の形としては確かに、顔見知りの多い単位老人クラブでの取り組みには「近場でゆつくり」タイプも効果的かと考えますが、単位老人クラブの集合体である「老ク連」の事業としては、やはり外へ出てイベント参加や体験・体得をする『イベントや研修地訪問』タイプのほうがよりふさわしかったのではないかと、新年度の企画検討のためアンテナを更に高く架け替えているところです。

さて平成二十四年度は単位老人クラブの退会が多く出た影響がいろいろ見られましたが「日帰り研修」も参加者数百十一名のバス三台となりました。



ユーユーカイカン全景

十月二十五日早朝、各地から参加者を集めてきた三台のバスはゆめホールに集結後、米原ICから名神に入り伊吹PAで小休止して関ヶ原ICで名神を降り、一路県道く国道を経て「上げ馬神事」で有名な多度大社へ向かいました。

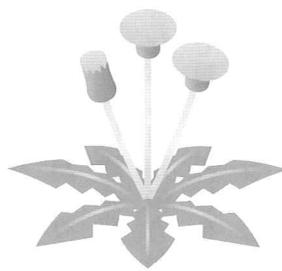
ここでは集合写真を撮り参拝をして、五月の「あげ馬神事」十一月の「流鏝馬」と行事のはざ間の大社を後に国道を南下、東名阪を走り、四日市IC近くの「ユーユーカイカン」に十一時過ぎに到着しました。

月一回のサロンが始まって以来十五年になるとのこと、私が参加

小野とし子

米原北一組会

サロンボランティアに参加して



カイカンでは昼食後、天然温泉への入浴や大衆演劇を観たり、地産品のショッピングなどで午後三時半までの四時間を自由に過ごしていたいただきました。

好天にも恵まれて順調に行程がこなせ、定刻に無事帰着できましたのもご参加くださいました皆様のご協力ご支援のお陰と感謝いたしております。

新年度には更に会員の皆様にお喜びいただけるよう検討してまいりますので、会員の皆様からの情報提供をよろしく願います。

したのは今年で四年目です。この活動に参加して感じたことは、地域の皆様が一体となりこのサロンを立ち上げて下さったと言うことです。



童心に帰って折り紙づくり

区や公民館の役員、民生委員、ボランティアの方々により今日のサロンが形作られたことに皆様のご苦勞を伺い知ることが出来ます。現在は十二人のボランティアが二人一組で二年間の当番制で、当日の食事の材料の調達や献立等を考えながらその月その季節に合った食事を作ります。また月々の当番もあり、これも二人一組で、その

月の一日の過ごし方を考えて、午前は軽体操から始まり折り紙、クイズ、二字・四字熟語等の頭の体操に重きをおき、午後はリラックスマスして輪投げ、ペットボトルでボウリング、昔懐かしい歌、唱歌を歌って和気あいあいと一日を終わることが出来ます。



ペットボトルボウリングで楽しく

時には交番所の方に来ていただき、オレオレ詐欺、ひったくり等の手口のお話を聞き、他人事ではなく、自分にも有り得ることと肝に銘じております。

このサロンは、七十歳以上の方は誰でも参加できます。月一回ですが、普段顔を合わせることのない人も食事を共にすることによってお話が弾み、親睦の輪が広がり、楽しい交流の場になるのではないかと考えています。

年々利用される方もボランティアの方も減少傾向にあります。一人でも多くの方に参加していただき、このサロンが、いつまでも続くことを心から願っています。

### 湖岸掃清で思うこと

#### 磯老人クラブ連合会

磯老人クラブ連合会で自慢できる活動の一つに、琵琶湖々岸掃清があります。

「磯の浜辺」と言われる様に、磯区に面する湖岸は、琵琶湖の中でも有数のきれいな砂浜と言ってよいのではないのでしょうか。

その美しさの所以は、当地は琵琶湖の中で最も横幅の広い部分に位置している為、強風が吹けば大

きな波が打ち寄せて、湖岸の砂浜をきれいに洗ってくれるからだと考えます。

只、大きな波が湖岸をきれいに洗ってくれるのは良いのですが、困った事に多くのゴミも一緒に運んできてくれるのです。



秋晴れの琵琶湖・磯の浜辺

私達老人クラブでは、区民の癒しの場である浜辺を美しく保つべく、春から秋にかけて毎月湖岸掃清を行っています。

又、個人のボランティア活動で、日々清掃を行ってくださっている方もおられ、その姿に頭の下がる

思いで一杯です。

こうした活動が評価され、滋賀県知事より感謝状も頂いています。日々の活動を行っている中で思うことは「このゴミはどうしてこのきれいな湖岸にあるのだろうか？」と言うことです。

ペットボトルや栄養ドリンクの空き瓶をはじめ壊れたプラスチック製品等雑多なものがあります。

特に九月の豪雨時には、驚愕する程のゴミが押し寄せました。

大木などの木片は自然災害のいたずらと考えますが、空き瓶・空き缶等の生活ゴミは、誰かが天の川などに捨てたものが流れ着いたのだと考えます。

一人の心ない「ポイ捨て」が多くのゴミとなり、きれいな琵琶湖を汚している事を考え、末代まできれいな琵琶湖を引き継ぐ為、ひとり一人が環境美化に心掛けたいものです。



### サロンを引き継いで

上多良松鶴会

西川 尚子

老人クラブの会員より若い区の役員やボランティアの皆さんのお世話になった「上多良ふれあいサロン」も八年が過ぎました。

その間、忙しい中、次から次へと計画を立て、楽しいサロンになるように気を遣っておられました。参加者もサロンの日が来るのを心待ちにされていました。併せて「あなた達も忙しいのにすまんなあ、折角の休みの日に…」という思いも耳にしました。

数年前から、老人クラブでサロンの運営をしてはどうかという声がチラホラ聞こえてきました。

そこで、今年度になって、これまで区の役員やボランティアの人達が試行錯誤され運営に苦労されてきたサロンを老人クラブが引き継いで出来ないものかと役員会で検討し、四月下旬に臨時総会を開



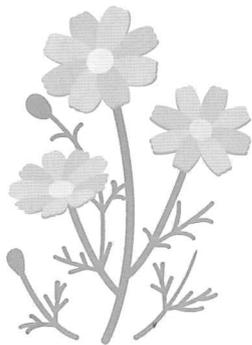
食事時の楽しい語らい

き、承認を得ることができました。思い返してみると、以前は畦道に腰を下ろしてお茶やお菓子をやりもらいしながら話し込んだり、隣へ「どうしてる」と気楽に行つて遊んだりしていましたが、今はそのような光景を殆んど見ることはありません。

サロンの世話をする人も参加する人も全て上多良在住の仲間同士老人クラブに入会しているとか、入会していないとかを問わないで気兼ねなく集まれるようになりました。

老人クラブの女性の役員が直接の担当者になり、男性の役員はその支援者となり、時には「今回は何班の皆さんにお手伝いをお願いします」と協力を求めることもあります。

今のところ、おかげ様で、毎回四十名余りの参加者があり、公民館から、にぎやかな笑い声や歌声が聞こえてくるようになりました。地域の皆さまに支えていただき、これからも今のようなサロンが続きますことを願っています。



### 私の趣味は絵画です

南三吉

和風会 土川 豊男

「あなたの趣味は、なんですか？」と聞かれることがあります。

こんな時、私は「絵を描くことです」と答えるようにしています。子どもの頃から絵を描くことが好きで、図工の時間が一番楽しかったような気がします。

大人になっても暇を見つけては水彩で植物画などを描き楽しんでいました。



初雪 蓮華寺の山門

油絵を始めたのは十年程前ですが、行き詰まりを感じるようになり、文化センター（文産会館）の絵画教室に入りました。

入学初日、先生から言われた言葉が『上手な絵と良い絵は違う。小学生の絵は上手とは言えないが、感動する絵があるだろう。それが良い絵だ。』絵画教室に通い始めたころに比べ最近「絵が少し変わりました。」と言われるようになりました。



米原曳山祭り

人物は苦手で敬遠していましたが、最近人物にも挑戦しています。米原の曳山祭りを題材にするものが多くなりました。

先生の言われた『感動を与える絵』に少しは近づいたのでしょうか？なかなか良い絵は描けません。老化防止のためにも、出来るだけ永く続けたいと考えています。



醒井のハリヨが  
ピンチです！

下丹生

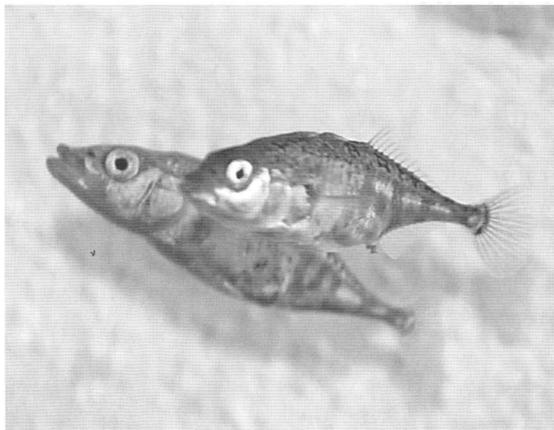
第一寿会 山田幸祐

醒井の地蔵川や丹生川、枝折川などに数多く棲息していた『ハリヨ』が今、ピンチです！

最近では数の上で絶滅が危惧されていますが、心ない人の異種（イトヨなど）放流行為などによって「交雑種のモンスターが増え、我が物顔で地蔵川などを泳ぎ回っている！」と研究者の岐阜経済大学教授 森 誠一先生からお聞きしました。ご存知のとおり「ハリヨ」

は湧水などの冷たくて綺麗な水にしか棲まない光沢のあるみどり模様のかわいい希少種です。

体長六センチほどの小魚で、繁殖期にはオスは体色が青味を帯びてあごが赤色を発して綺麗になり、メスはおなかが大きくなるとお気に入り？のオスとつがいとなって水草などで小鳥のような巣を作り産卵します。



夫婦仲の良いハリヨ 前メス、奥オス

また警戒したり立腹すると両脇や背びれの針を突き出して威嚇するため「ハリヨ」の名がついたと言われる希少価値十分の守ってあげたい小魚です。この「ハリヨ」が、交雑種の繁

殖力に押されて、枝折川と醒井小学校で飼育中の種のみ純種を残す状態で、これはコトですよ。

私たちの周りからも、いつの間にか『物知りの長老や正義の味方のご意見番』それに『いじめに歯止めガキ大将』などの姿が見られなくなつたと思いませんか。これは、えらいコトですよ！



ある『備忘録』から

- ・はしごとの おやつがわりか残り柿
- ・もみじ美に 寒さ讚える 郷の秋
- ・伊吹晴れ ダウン頼もし 冬支度
- ・きょう伊吹 あす霊仙に 里の雪
- ・着更着の 弥生に託夢 積もる雪

歴代会長一覽

米原老人クラブ連合会

九代 北村 勘七 (入江)

昭和五十九年十二月～六十二年三月

十八代 谷田 淳 (米原)

平成十四年四月～十六年三月

初代 川野 俊三 (米原)

昭和四十一年四月～四十六年三月

十代 野村 重一 (米原)

昭和六十一年四月～六十二年三月

十九代 土田喜代司 (息郷)

平成十六年四月～十八年三月

二代 澤 直一 (息郷)

昭和四十六年四月～四十八年三月

十二代 畑 源七 (息郷)

昭和六十三年四月～平成二年三月

二十代 岡野 錦司 (醒井)

平成十八年四月～二十年三月

三代 田口 貞藏 (醒井)

昭和四十八年四月～五十一年三月

十二代 福田 定観 (醒井)

平成二年四月～四年三月

二十一代 酒井 久一 (入江)

平成二十年四月～二十一年四月

四代 堀川 与惣治 (入江)

昭和五十一年四月～五十三年三月

十三代 北村 勘七 (入江)

平成四年四月～六年三月

二十二代 成宮 清己 (入江)

平成二十一年五月～二十二年三月

五代 野村 重一 (米原)

昭和五十三年四月～五十五年三月

十四代 北川 鐵男 (米原)

平成六年四月～八年三月

二十三代 赤堀 義次 (米原)

平成二十二年四月～二十四年三月

六代 北川 治良吉 (息郷)

昭和五十五年四月～五十七年三月

十五代 高田 寅雄 (息郷)

平成八年四月～十年三月

二十四代 山本 賢夫 (息郷)

平成二十四年四月～

七代 池田 准藏 (醒井)

昭和五十七年四月～五十九年三月

十六代 山口 馨 (醒井)

平成十年四月～十二年三月

八代 堀北 竹雄 (入江)

昭和五十九年四月～五十九年十一月

十七代 川崎 敏夫 (入江)

平成十二年四月～十四年三月



編集後記

米原老ク連の広報紙「ねんりん」は平成二十四年度、第三十六号と第三十七号を発行いたしました。例年編集要領等の関係で先号は八月頃お届けすることが多く速報性に欠けることが指摘されてきましたので、先号の内容を役員組織と年度計画に絞って編集と発行の迅速化をはかり二ヶ月早く六月にはお手元にお届けすることが出来ました。

後号(第三十七号)は米原老ク連の事業報告と会員の皆様のご投稿を頂戴する従来方法で編集してお届けいたしました。

お陰をもちましてこの取り組みは経費の節減にも効果があったようで、懸案であった編集・校正をした後印刷はモノクロですが専門業者に依頼することが出来ました。

ご投稿くださいました会員の皆様や発行にお力添え下さった方々有難うございました。